

明治魂を伝える

平成十一年文学部史学地理学卒

中西大輔

私は豊島区池袋に生まれ、都立竹早高校を卒業して明大に入学しました。学生時代は体育会合気道部に所属し、授業よりも部活と酒飲み精力を傾けておりました

合気道は他のスポーツと異なり試合が無い、「全日本優勝」「インカレ1位」などの成績を残したことはありませんが、東京六大学を始め他大学合気道部との酒の席では、常に明治がNO.1であったと自負しております。

明治大学地理学専攻において重



要視されている野外実習（フィールドワーク）においては、

真夏の酷暑の中でも合気道で

培った精神力と体力で、何と

か乗り切ってきました。野外

調査のモットーである「歩く、

観る、考える」という取り組

み姿勢は、現在の地域活動や

社会人生活の中で活かされて

いると思います。

大学卒業後はソフトウェア開発

企業に入社、今日までシステムエ

ンジニアとして様々な会社様のシ

ステム導入・維持に携わっており

ます。

仕事を進める際、様々な問題や

利害関係がぶつかる事も多いので

すが、その時でも前へ進むことを

心掛けております。

合気道の方は、縁あつ

て豊島支部の斉藤孝雄

OBが主宰されている

「池袋さいとう道場」に

入門し、現在も稽古を続

けております。近年は合

気道指導者として、合気

道の魅力をより多くの

方々に伝えることを模

索しております。（最近



気づきました。が、

会報第33号にて

斉藤孝雄OBと

一緒に写真に写

っております。）

祖父の代から

池袋に住んでい

ることから、町会

や神社の青年会

に参加しており

ます。祭礼や町会行事などの各種

催し事を通じて豊島区の発展に貢

献できればとお手伝いさせて頂い

ております。

同じ町会には、明治大学校友の

先輩もおり、さまざま役割・立

場を担う機会をいただき、戦々

恐々としていますが・・・今後

とも「正勝吾勝」(まさかつあがつ)

で、頑張ります！。校友会豊島支

部には昨年の暑気払いを機に入会

させていただきました。校友会の

先輩方とともに豊島区の発展を通

じて明治の名前を一層世に広めて

いく所存でございますので、ご指導

ご鞭撻のほどよろしくお願い申し

上げます。

催し物のお知らせ

■豊島区地域支部暑気払い

8月6日(土) 午後6時

池袋東口 ホテル第一イン池袋

■第1回 明治寄席

9月30日(開演 午後6時30分)

板橋区立文化会館小ホール

明治大学校友会 北部支部(前

豊島支部 三浦昭生氏が現北部支

部長)は今年から『「明治寄席」

「明治の縁会・集え紫紺」と題

し落語を楽しむ会をスタートさせ

る。入場料は、一五〇〇円で明大校

友以外の一般の方々も観覧可。

三浦北部支部長は「第1回目の

記念すべき寄席には是非沢山の方々

にご来場戴き、満席で明大出身の

出演者の方々にも喜んで戴きたい

と語る。出演者は明大OBが殆ど

で、真打の三遊亭圓丈、立川ぜん

馬、滝川鯉昇さんの3名と、二つ

目から桂竹千代さん、前座から古

今亭駒六さん、色物では鏡味味千

代さんと豪華な出演メンバーで舞

台を飾る、是非ご来場を・・・。

明治大学校友会豊島区地域支部会報

豊島支部 NEWS

2016年 第52号

<http://meiji-toshima.com>
フェイスブックもチェック!!

現役・明治大学応援 団長も参加

二〇一六年初春交流会開催

2月20日(土) 18時から、昨年までは新年賀詞交歓会として行われておりました新年最初の恒例行事が、新しく「初春交流会」と銘打って池袋駅西口近くの地球飯店で開催され、昨年の参加者を大幅に超える80名以上の方々にお集まり頂きました。そのため会場も何時もよりは一部屋広くして対応致しました。80歳代の大先輩から現役の学生までの幅広い層が結集し、豊島地域支部が掲げております「老・壮・青」が集う校友会を文字通り行うことができました。

司会は、毎回毎回、明るく元気よく進行役を行って頂いている長尾睦子副支部長と知久晴美幹事ご二人の息の合ったツートップで進めました。

開会の挨拶は、白砂正人支部長が、常に唱えております「あかるく」「なかよく」「たのしい」という言葉の

それぞれの頭文字をつなげた「あ・な・た」の校友会として皆さん方に



喜んで頂けるような会にしていきたいと新年の抱負を語って頂きました。

乾杯の音頭は、今回初参加とな

りました一般社団法人豊島産業協会、白井宏一会長(昭和54年商学部卒)のご発声で乾杯が行われ初春交流会がスタート致しました。なお、例年ですとお客様代表として、高野之夫豊島区長が特別ゲストとしてご挨拶されてお

りました。インフルエンザに罹られたということで欠席となり、東京商工会議所豊島支部鈴木正美会長から高野之夫区長からのご伝言を交えてご挨拶を頂



きました。

また、毎回好評を頂いておりますイベントも今年は趣向を変えて、池袋地元のプロ女性コーラスグループ「Artemis」の初春らしい爽やかな歌声に会場内が包まれ、各テーブルでの校友同士の会話も大いに盛り上がりました。また、初春に相応しい地球飯店の特製料理に舌鼓を打っておりました。

いつものように楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、参加者へのお礼のご挨拶を増田治美校友からユーモアたっぷりに行って頂きました。そして、現役の応援団長、細谷一誠君(政経学部四年)のリードで、参加者全員が肩を組み陣を作って校歌の大合唱となり最高潮に盛り上がりました。

最後の締めは、がらりと雰囲気が変わって、伝統ある江戸消防記念会第四区(池袋)十番組の頭による江戸情緒溢れた木遣りと三本締めで、例年になく華やいだ雰囲気のまま初春交流会はお開きとなりました。

【報告】幹事長 昭和47年法学部 卒 板橋光一(文責)

平成28年1月1日

活動報告

○北部支部役員会開催



三浦北部支部長および、三森北部支部幹事長が中心となり明治大学紫紺館で定期的開催されています。新体制になってから参加者も大幅に増え、北部支部の

活動が活性化されております。北部支部は、荒川区、板橋区、北区、豊島区、練馬区、文京区および西東京市の7地域支部により構成され、役員会は、企画委員会、組織委員会、広報委員会、

総務委員会の4委員会と会計幹事・監査委員というメンバー。

○豊島区地域支部幹事会開催



毎月、幹事会を柳田副幹事長のご配慮で、池袋メトロポリタンプラザビル20階にあります常盤興業会議室で行っております。毎回、15名以上の方々に

ご参加頂き、豊島支部の運営についてご意見を頂いております。また、外部ゲストをお招きして、勉強会も行っております。

2月10日の幹事会に豊島区民社会福祉協議会大竹課長をお招きして「地域福祉サポーター」について勉強会を実施し、勉強会をきっかけにして地域福祉サポーターに登録された校友もおりました。

○柳田副幹事長が代表理事をされているNPO法人としまNPO推進協議会および、豊島区民活動センター運営協議会が主催する『第10回社会貢献活動見本市』に協賛し、パネル展示47団体



の中から、明治大学校友会豊島区地域支部賞として「豊島区居住支援協議会」へ協賛金を贈呈しました。「豊島区居住支援協議会」は、空き家・空き室等の比率が高い豊島区において、それらの有効活用による住宅確保要配慮者への住まい及び居場所の提供、民間賃貸住宅への円滑な入居の促進及び居住の安定方策の促進・情報の提供等

の支援、啓発活動等住宅市場の環境整備などに実践的に取り組んでおり、今後の寄り一層の取り組みが期待されます。

○豊島区ミュージカル第三弾「蝶がくれたすすきみみずく」への後援（知久幹事が代表理事の劇団ムジカフォンテおよび、大塚ものがたり未来プロジェクト主催）



チケット購入に多くの校友にご協力を頂きました。

○校友会入会記念ウエルカムパーティー



2016 三浦シニアフェロー、白砂支部長、板橋幹事長、島倉幹事で参加。豊島区在住の新卒業生1名を勧誘できました。

○メモリアルオーケストラ

東日本大震災から丸5年を経た3月11日（金）、豊島区役所新庁舎1階で「第10回社会貢献活動見本市」のプレイイベントが行われました。

オーブニングイベントとして、豊島区を活動の拠点としている、「明



治大学マンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラ」は被災地への想いを胸に、「丘を越えて」「ふるさと」「花は咲く」の3曲を演奏いたしました

○熊本地震の義援金寄付 豊島区役所の受付窓口である区民活動推進課へ板橋幹事長に持参していただきました。



○明大ゴルフ部タイ遠征

長尾副支部長が女子チームの監督を務める明大ゴルフ部は、毎年恒例となった春休みのタイ遠征で、当地の明大紫紺会との皆さんとの交流コンペ、そしてチュラロコン大学との交流戦を行い親交を深めました。



校友・お店紹介



この度は、このような素敵なご機会を頂き、心より感謝申し上げます。私は政治経済学部政治学科の平成十九年度卒業です。

現在は Foryou company 飲食事業部のマネージャーを務めております。

『居酒屋から日本を元気にする』をミッションに毎日奮闘しています。運営店舗は本店が池袋パワースポット**居酒屋魚串炙縁**、2号店がサード**プレイスバーほたる食堂**の二店舗です。



二〇一一年一月十一日に現在の仲間と会社を創業し、6年目を迎えました。創業して2か月後には東日本大震災がおき、一時は営業停止になりましたが地域の方々のお力添えのおかげさまで営業再開することができました。この時『人の絆の大切さ』に気づかせて頂き、リアルなコミュニケーションをもう一つのミ

ッションとじています。

本店の魚串炙縁は、炉端焼きと日本酒の専門店です。農家さんより仕入れた旬のお野菜と市場から届くお魚を串にし、炭で炙り素材を堪能しながら、日本酒好き酒師が厳選する全国各地の地酒とのマリージュをお楽しみ頂けます。コンセプトは『第二の『うち』とし、お客様やスタッフにとって安心して帰ってもらえる居場所であり、家族のような温かい絆とご縁が繋がる空間を目指しています。毎月39イベントを開催、毎日がお祭りのように賑わっています。その中でもお客様と二〇一一年



11月から毎月11日には「東北応援」ともしてプロジェクト東京本部として続けてきた会は43回目を迎えました。宮城県気仙沼から直送の鮮魚と日本酒を食しながら、キャンドルナイトを開催、東北のみなさんへの『忘れていないよ。』をカタチに

すべくお客様と手を取りあい築きあげてきた大きなコミュニケーションのひとつです。

『お父さん、お母さん生んで育ててくれてありがとう』を大切にしてお誕生日や人生の節目のお祝いのご予約は年間で900件を超え、涙を流されるお客様も多数いらっしゃいます。お誕生日にご両親と一緒にご来店され、感謝を伝えられるお客様も少なくありません。

昨年オープンしたばかりの2号店ほたる食堂は、半身の若鳥唐揚げ&たまご料理と焼酎・焼酎ポールの専門店です。鹿児島県知覧にある富屋食堂をモデルに、『Foryou(志)』『サードプレイス』『食』を大切にしたお店です。

弊社では**創業時から毎年鹿児島**

知覧の特攻隊平和記念会館を中心

に社員研修に行っております。そこ

にある数々の遺書は、同世代の若者が日本を明るく未来を信じて、大切な人の幸せを守るため、まだ見ぬ後世の私たちの幸せを願って、命を使ってくださった過去の記憶が沢山あり、私たちは日本の未来のために何ができるのかを考えさせてくれます。この考えをForyouと呼び、

研修ではこの志を確認して池袋に帰ってきます。その遺書の中で最も影響をうけたのが穴沢少尉の遺書でした。一番最後に**大好きな彼女とデートをした場所は池袋の土地**であり、『幸せになつてほしい』と書かれた遺書。私たちのご縁を頂いた池袋という土地。偶然とは思えず、この想いを繋いでいくことが私たちの使命のひとつと感じました。

様々なことが目まぐるしくおこなる現代の社会の中で、これまで日本を守ってきてくださったご先祖さまや両親に感謝し、ご縁を頂いたこの大好きな池袋から飲食業を通じて、これからの日本の明るい未来のために精進していきたいを微力ながら感じています。

明治大学校友会の皆様には、今後ともご支援・ご指導の程よろしくお願いたします。

魚串炙縁 池袋3-59-9

050-5797-4714

ほたる食堂 池袋2-72-9

03-6914-1885



Foryou company 飲食事業部マネージャー 野口陽子(政経学部平成十九年卒)